【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2001-234271(P2001-234271A)
【公開日】平成13年8月28日(2001.8.28)
【出願番号】特願2000-46929(P2000-46929)
【国際特許分類】
Ｃ２２Ｃ　21/06　(2006.01)
Ｂ２１Ｃ　23/00　(2006.01)
Ｃ２２Ｆ　1/05　(2006.01)
Ｃ２２Ｆ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２２Ｃ　21/06
Ｂ２１Ｃ　23/00　Ａ
Ｃ２２Ｆ　1/05
Ｃ２２Ｆ　1/00　６０４
Ｃ２２Ｆ　1/00　６１２
Ｃ２２Ｆ　1/00　６８３
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９１Ｂ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９１Ｃ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９２Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月30日(2007.1.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　Ｓｉ：０．４～０．８wtおよびＭｇ：０．８～１．２wt%を含有し、かつこれらの元素をＭｇ／Ｓｉ重量比１．５３～３の割合で含有するＪＩＳ　６０６１Ａｌ合金からなる押出形材であって、その金属組織においてＳｉ系化合物サイズが３μｍ以下となされていることを特徴とするＡｌ－Ｍｇ－Ｓｉ系合金押出形材。
【請求項２】　前記押出形材は、ハードディスクドライブ用部材である請求項１に記載のＡｌ－Ｍｇ－Ｓｉ系合金押出形材。
【請求項３】　前記ＪＩＳ　６０６１Ａｌ合金中のＳｉ含有量が０．５～０．７wt%である請求項１または２に記載のＡｌ－Ｍｇ－Ｓｉ系合金押出形材。
【請求項４】　前記ＪＩＳ　６０６１Ａｌ合金中のＭｇ含有量が０．９～１．１wt%である請求項１～３のいずれかに記載のＡｌ－Ｍｇ－Ｓｉ系合金押出形材。
【請求項５】　前記ＪＩＳ　６０６１Ａｌ合金中のＭｇ／Ｓｉ重量比が１．５５～２．０である請求項１～４のいずれか記載のＡｌ－Ｍｇ－Ｓｉ系合金押出形材。
【請求項６】　Ｓｉ：０．４～０．８wtおよびＭｇ：０．８～１．２wt%を含有し、かつこれらの元素をＭｇ／Ｓｉ重量比１．５３～３の割合で含有するＪＩＳ　６０６１Ａｌ合金ビレットを５００～５３０℃で所要形状に押出した後、１２０～４００℃／分の速度で冷却し、さらに１６５～１９０℃で１５時間以下保持して時効処理を施すことを特徴とするＡｌ－Ｍｇ－Ｓｉ系合金押出形材の製造方法。